

奈良県立医科大学

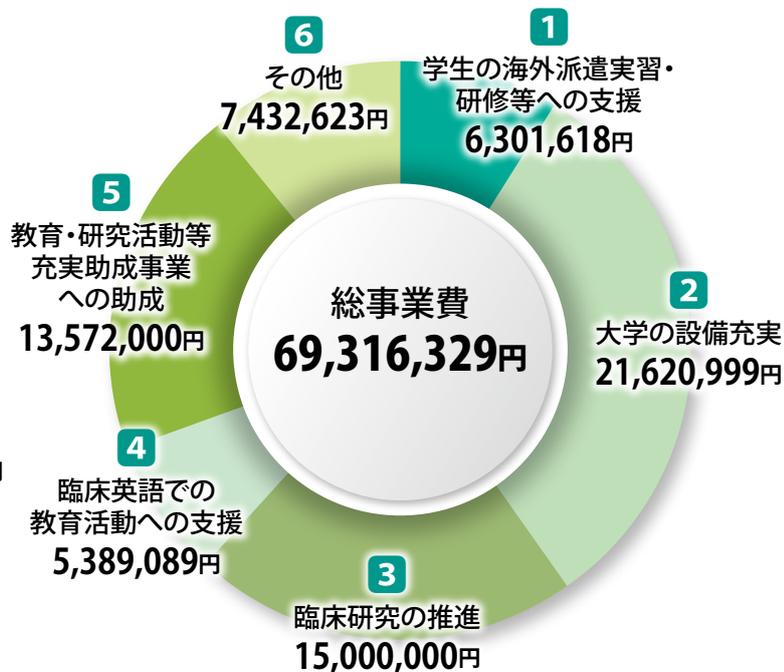
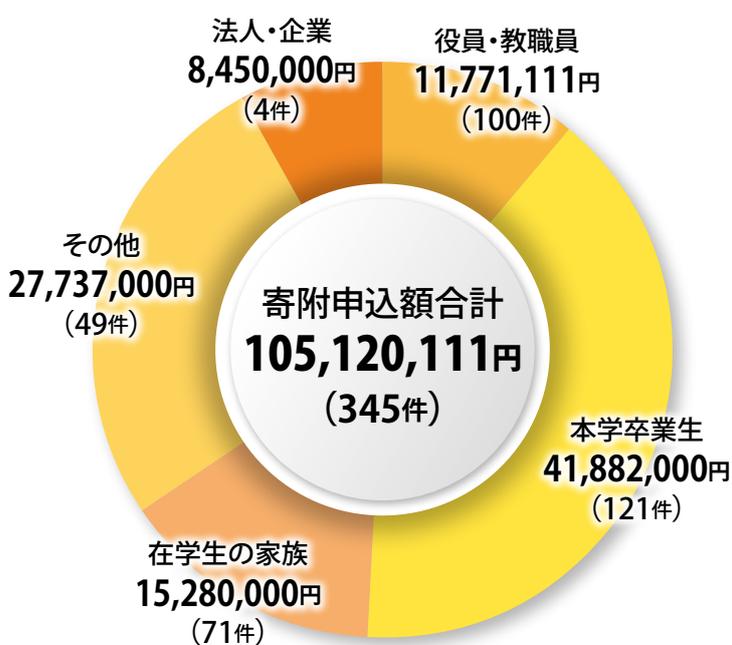
「未来への飛躍」基金

平素より未来への飛躍基金への多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。
皆様からのご寄附は、教育、研究及び診療活動への支援、大学及び附属病院の施設整備への支援等、幅広く活用させていただいております。

2023年度 寄附申込状況と使途実績のご報告

寄附件数 **345件** 寄附申込合計 **105,120,111円**

〈差額は基金に積み立てています。〉



事業の概要

1 学生の海外派遣実習・研修等への支援

- ・海外リサーチ・クラークシップ
- ・臨床実習
- ・海外留学
- ・その他 海外研修等

2 大学の設備充実

大学設備の機能向上のための整備を実施。

3 臨床研究の推進

医師主導治験・特定臨床研究の実施を目指している研究者に対して研究資金の一部を援助。

4 臨床英語での教育活動支援

医学・看護学の準備教育としての臨床英語の強化を図るための講座活動費を助成。

5 教育・研究活動等充実助成事業

各所属で実施している教育・研究活動事業への助成。

6 その他

英文校正費助成、事務費等。



奈良県立医科大学

Nara Medical University

「未来への飛躍」基金への感謝

海外リサーチ・クラークシップ (2023年度活動報告より)

University of Michigan Medical School へ

 研究実習留学をしました USA
(当時) 医学科 2年 和出 陽南

この度は研修先への渡航及び滞在において多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございました。「未来への飛躍」基金からのご支援のおかげで、普段の授業では得られない貴重な経験をすることができました。リサーチ・クラークシップでは実験手技を学ぶことは勿論、それ以外にも様々な講演会やラボミーティングに参加することで、世界で活躍する研究者の研究やその議論を目の当たりにし衝撃を受けました。私は将来海外で研究をすることを視野に入れており、留学中に見た人達のようになることが将来のひとつの目標となりました。今回のリサクラで学び感じた多くのことを今後の研究活動に最大限活かせるように精進して参ります。2年生という早い段階から海外研究を体験できたのはご支援、サポートしていただいた関係者の方々のおかげです。心より感謝申し上げます。



ラボのメンバーと

National University of Singapore へ

 研究実習留学をしました Singapore
(当時) 医学科 2年 佐久間 隼人

基金に寄附をしていただいた皆様にお力添えいただいたおかげで、海外リサーチ・クラークシップという他大学では極めて稀で貴重な実習に参加することができました。深く感謝申し上げます。

この実習を通して、研究スキルの向上だけでなく、将来医療に参画する際に必要となる社会性を身に着ける一歩を踏み出すことができました。この貴重な経験を活かすべく、これから残りの学生生活も、研究はもちろんのこと、医療全般に広く関心を持ち、医学の発展に貢献できるよう絶え間のない努力を続けていきます。本当にありがとうございました。



ラボメンバーと春節祝い

KU Leuven Campus Kulak Kortrijk へ

 研究実習留学をしました Belgium
(当時) 医学科 2年 平岡 崇秀

今回の実習を通して、研究者としてはもちろん人間としても大きく成長することができました。「未来への飛躍」基金がなければ自分は海外で実習することはできなかったと思いますので、このような機会をいただけたことに本当に感謝しております。

今後、奈良だけでなく日本そして世界を代表するような医学研究者になるために今回の経験やご縁を活かしていこうと思います。



ラボのメンバーと

University of Leeds へ

 研究実習留学をしました UK
(当時) 医学科 2年 伊藤 晴加

海外派遣に伴い、多大なるご支援をいただきありがとうございました。円安の影響で特にイギリスの物価は高騰していましたが、ご援助いただいたおかげで、イギリス・リーズ大学にある最先端の機器が揃う研究施設で研究させていただくことができました。

現地では、実験だけでなく会議やセミナー等にも多数参加することができ、多くのことを得て帰国することができました。誠にありがとうございました。



留学先のポストクと

リサーチ・クラークシップとは

医学科2年生を対象に、学生自ら直接専門領域の研究内容に触れ、さらには高度な実験科学の進め方を実際に体得するための授業です。研究活動の意義及びそれを支える研究者の心を理解してresearch mindを培うことを目的とします。海外の研究室での11週間の実習に必要な交通費、宿泊費、実習費等の一部を基金から助成しました。

University of Alberta へ

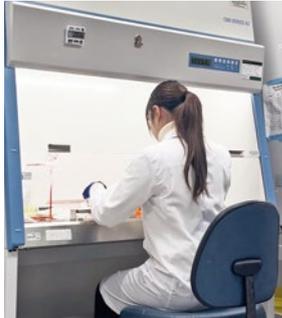


研究実習留学をしました *Canada*

(当時) 医学科2年 小西 菜々子

海外での研究実習留学の機会を与えてくださりありがとうございました。この留学が決まるまで、私はほとんど研究の経験はなく、1人で海外に行った経験もなく、研究への興味だけがある状態でした。そんな中、未来への飛躍基金のご支援の元、海外で研究できる機会があることを知り、海外リサーチ・クラークシップへの参加に挑戦することを決意することができました。

最先端の研究が行われている研究室で実際に研究に携わり、研究に対する向き合い方や研究の奥深さを学ぶことができました。また、異なるバックグラウンドをもつ方々と交流を深めることができました。この経験は、今後研究を続けていく中で、また、医師として働くときにも必ず役に立つと思います。海外リサーチ・クラークシップへのご支援をいただき、本当にありがとうございました。



研究室にて

University of Texas Health San Antonio へ

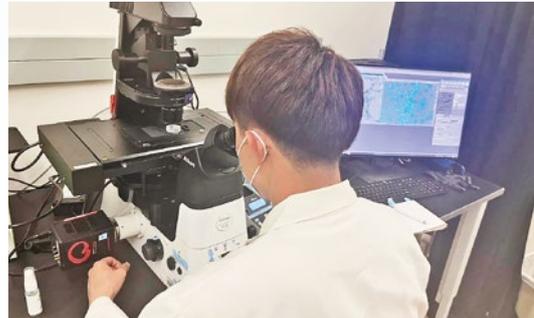


研究実習留学をしました *USA*

(当時) 医学科2年 大平 雅也

今回、海外リサーチ・クラークシップでこのような貴重な機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。アメリカで以前より取り組むことを切望していたGlioblastomaの研究を行うことができ、大変感謝しております。

海外留学では金銭面が大きな問題となりがちですが、未来への飛躍基金様のおかげで今回このような経験をすることができました。今後も勉学や研究に全力で取り組み、このご恩を返させていただくよう努めさせていただきます。心より御礼申し上げます。



β-gal assayを確認する様子

National Taiwan University Hospital へ



研究実習留学をしました *Taiwan*

(当時) 医学科2年 森田 大智

この度は私のリサーチ・クラークシップの活動に関して支援していただき誠にありがとうございました。私はこの約2か月間の研究期間で、高度な研究環境内で多くの修練を積みことができ自身の技術を大きく向上させることができました。そして、台湾で多くの人々と交流しその歴史、文化に触れることで異文化への理解を深めることができました。

私はこのリサーチ・クラークシップで得た経験を忘れることなく、自信をもって、これからの研究をはじめ、様々なことに果敢にチャレンジし、医療人として成長していきたいと思っています。



鳥来にて

National Taiwan University Hospital へ



研究実習留学をしました *Taiwan*

(当時) 医学科2年 有野 公人

本リサーチ・クラークシッププログラムを通じて、私は臨床研究の経験を積むとともに研究自体の視野も広がったように感じています。また、初めて海外で研究活動を行ったことは、自分の将来について考えるよい機会にもなったと思います。リサーチ・クラークシップでお世話になった方々への感謝の気持ちを忘れることなく、この経験を糧に大学生活を過ごしていきたいと考えています。

未来への飛躍基金による金銭面の援助があったからこそ、リサーチ・クラークシップで海外留学ができた私は感じています。ここに深く感謝申し上げます。



指導教官と

TOPICS

1

新キャンパスの整備について

本学は、教育・研究部門の新キャンパスへの全面移転と、現キャンパスでの附属病院施設の抜本的充実を図るという新しい奈良県立医科大学を作り上げる絶好の機会を迎え、数十年先の大学と附属病院のあるべき姿を検討するため、2014年1月に「医大の将来像策定会議」を立ち上げました。その後十分な検討を重ねたのち、2017年4月に「奈良県立医科大学の将来像」及び「奈良県立医科大学キャンパス整備イメージ」を策定、公表しました。2019年3月には基本計画を取りまとめ、2021年度より造成工事及び建築工事を実施し、2025年度にオープンします。



医大新キャンパスの移転整備

【整備コンセプト】

- 奈良への愛着を醸成し、奈良県立医科大学ならではの医学教育を実践する場にふさわしい姿を具現化
- 現在老朽化が著しい教養教育部門及び看護学科の施設を先行して整備(2024年度に先行整備分竣工予定)
- 歴史的な景観や、畝傍山への眺望など周辺の自然環境に配慮しながら、日本最初の都城である藤原京をモチーフとした、古都奈良に相応しい景観を形成するようなデザイン



TOPICS

2

寄附者銘板について

ご寄附いただいた方々への感謝の気持ちを込めて、顕彰制度を設けています。寄附額が30万円以上(複数回のご寄附をいただいた場合は合計額)の方々のご芳名を刻んだ銘板を附属病院1階に設置しています。

【ゴールドプレート】個人・法人 1千万円以上

【シルバープレート】個人・法人 100万円以上

【ブロンズプレート】個人 30万円以上/法人 50万円以上



寄附者ご芳名の銘板(附属病院1階)

TOPICS

3

紺綬褒章について

紺綬褒章は国の褒章制度の一つで、公益のために私財(個人で500万円以上、団体で1千万円以上)を寄附された方に授与される褒章です。あらかじめお申し出いただいた分納によるご寄附も含まれます。未来への飛躍基金にご寄附をいただき「紺綬褒章」申請を希望される方について、本学から推薦させていただいております。

詳しくは総務広報課までお問合せください。



紺綬褒章(褒章・章記)

〈奈良県立医科大学 総務広報課 未来への飛躍基金〉

TEL:0744-22-3051(内線2803) E-mail:hiyakukikin@narmed-u.ac.jp

【未来への飛躍基金HP】 <https://hiyakukikin.narmed-u.ac.jp> または「未来への飛躍基金」で検索!

